

議会だより

平成25年
第3回9月定例会

平成25年第3回定例会は、9月11日開会され、決算認定案件6件、補正予算案件3件、条例案件1件、報告1件、議員提出議案2件の合わせて13件の審議を行い、原案どおり可決、承認され、9月20日に閉会しました。

現在の取組状況

佐那河内村長 原 仁志

第3回定例会を迎えるに当たり、私が取り組んでいる基本的な考えや、第2回定例会以降の取り組みなどについてご報告し、これからの取り組みを説明します。

第1 人口・若者定住対策について

本村の人口は平成22年に2,588人であるのが、これから27年後の平成52年には1,428人まで減少すると報じられています。およそ44%の人口減少です。さらに、2人に1人が65歳以上の高齢者であるとも推計されています。人口対策は本村にとって待ったなしの課題であり、6月議会で、移住・交流支援センターの体制強化を図り、その取り組みを加速しています。とりえず本村の持っている魅力をアップするいろいろなイベントを実施し、本村の情報を発信しているところです。

先月には、大阪工業大学の前田先生や学生が本村を訪れ、若者定住策としての空き家改修や農家の家屋調査などに取り組み始めていただきました。これらのことについては、本定例会の補正予算でも定住化促進活性化事業などとして予算計上させています。この事業をさらに加速し、平成26年度予算でさらに事業実施ができるよう努力し、本村の人口・若者定住対策を進めてまいります。

第2 防災・減災対策について

緊急の課題として防災拠点施設の整備が急がれています。本村では、中学校の体育館（現村民体育館）の

つり天井への耐震工事がほぼ完成し、今月29日に開催される敬老会が正式なこけら落としとなります。また、保健センターの耐震工事についても、工事発注に向け準備中であり、本年度末には完成の見込みです。

役場庁舎の耐震化については、本年4月以降、鋭意いろいろな確度から検討しましたが、耐震指標であるIs値が悪いこと、耐震補強工事しても防災拠点施設としての寿命が延びるのかどうか。南海・東南海地震が発生した場合に、かなり大きなダメージを受けることが想像されることから、役場庁舎については、建て替えの方向で今後検討を進めてまいります。なお、庁舎の改築については、現下の厳しい本村の財政状況に鑑み、規模、整備水準、立地等について、経済的で耐久性に富み、機能的な施設の検討を想定しています。

さらに、勝浦町、上勝町と共同で取り組む消防救急デジタル無線整備事業については、局舎の設計に手間取り少しおくれがみではあるが、一日も早い事業着手に努めてまいります。

また、消防第1分団の詰所整備については、本定例会に必要な予算を計上しています。災害発生時の通信連絡体制の整備としては、アマチュア無線社団局に取り組みます。

第3 弱者対策としての高齢者の外出支援策について

いろいろな課題もあり、残念ながら大きな進展は図られていませんが、今後も村内の公共交通の実態を勘案し、検討を進めてまいります。あわせて、健康増進や介護予防につ

いても検討しなければなりません。とりえずは特定健診の受診率を高め、病気の早期発見に力を注いでまいります。

第4 農業振興について

将来も農業が営まれ、先人が開かれた農地を守り、農地から優良な農産物が生産される村、そして徳島市等近隣から本村への訪問者には、ゆったりとした我が国の原風景を楽しんでいただける村が私の理想とする姿です。今後、農協や生産者団体と議論しながら取り組んでまいります。

次に、鳥獣害対策については、神山町と協議会を設立し事業を実施しています。特に捕獲した有害鳥獣の処理に苦慮していましたが、本定例会に有害鳥獣処理機を導入させていただき、捕獲した鳥獣が適正に処理できる体制が整うものと考えています。

さらには、昨年度に引き続き嵯峨・下地区簡易水道の水源である南林・中山地区での公有林化に取り組むため補正予算を組んでいます。昨年度購入した奥川股地区の山林の整備等にも努めます。

加えて、再生可能エネルギーについては、奥川股地区での小水力発電の取り組みとして、国の事業を活用し基本設計に取りかかりたく、本定例会にも予算化しました。

青年就農給付金事業については、本議会で予算計上し、有効活用し、本村での新規就農者や農業後継者の確保に努めてまいります。

第5 国道438号一ノ瀬地区の改良促進について

去る8月22日に、保健センターで地元説明会が徳島県東部県土整備局の主催により開催されました。今後は具体的な事業の促進にかかることとなります。

さらに、主要地方道小松島佐那河内線の、寺谷地区の未改良区間整備について、既に一部の区間が施工され、残り区間も既に発注されています。あわせて、徳島市大久保峠付近の改良も徳島県に改良の要望とあわせて徳島市への支援の働きかけに努めていきます。

第6 佐那河内小・中学校の教育環境整備について

昨年の秋以来、保護者の皆さまから夏場の暑さ対策について整備をたびたび要望されていました。県内の小・中学校の動向等を勘案し、エアコンの設置を本定例会でご審議いただきたく予算を計上しました。

その他の事項について

一般廃棄物中間処理施設については、昨年7月に徳島市、小松島市、

勝浦町、石井町、松茂町、北島町と本村の7市町村で広域整備を図るための徳島東部地域環境施設整備推進協議会が設けられていますが、現在のところ具体的な計画の内容についての情報は入ってきていません。

税收等については、既に調定も終わり、納付書も送付していますが、ここ数年、滞納額が増加傾向にあり、税收等の確保に努め、収納率の向上に努めなければなりません。

今後も厳しい財政事情に変わりはありませんが、一層の経費削減に努

力し、健全な財政の確保に努めてまいります。特に過疎債による村づくりの推進については、ソフト事業をより効果的に活用し、事業の成果を上げます。

さらに、水道、農業集落排水施設の適正な維持管理、また、特別会計の健全財政の確保などについても今後も努力する所存です。

以上のとおり、簡単ではありますが、私の村政に取り組む所信とします。

● 決算認定案件 ●

議案第54号（認定第1号） 平成24年度佐那河内村一般会計歳入歳出決算認定

議案第55号（認定第2号） 平成24年度佐那河内村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

議案第56号（認定第3号） 平成24年度佐那河内村簡易水道特別会計歳入歳出決算認定

議案第57号（認定第4号） 平成24年度佐那河内村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

議案第58号（認定第5号） 平成24年度佐那河内村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

議案第59号（認定第6号） 平成24年度佐那河内村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

● 補正予算 ●

議案第60号 平成25年度佐那河内村一般会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算それぞれ1億8,936万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を25億7,599万8千円とした。

歳入について主なものは、村税で933万8千円の増額、地方交付税は追加配当があり1億757万2千円の増額、国庫支出金では道路橋梁災害復旧事業費国庫負担金、地域の元気臨時交付金、地域学連携実践拠点形成モデル実証事業国庫補助金、小水力等農村地域資源利活用促進事業補助金などで3,126万8千円の増額、県支出金では、青年就農給付金事業

県補助金、水源林購入県補助金、鳥獣害防止総合対策事業県補助金、隣地明確化事業県補助金などで3,490万円の増加、繰入金では、地方交付税の増額により財政調整基金からの繰入金の減額が5,000万円、村債では臨時財政対策債、災害復旧事業、過疎対策事業債などで5,621万6千円の増額となった。

歳出について主なものは、徳島豊かな森事業への水源林購入事業、広葉樹林化支援事業、公的管理推進事業で3,439万円、鳥獣被害防止総合対策事業で1,700万円の増額、地域の元気臨時交付金事業による村道の改良工事が5,023万円の増額、小・中学校エアコン設置工事で1,680万円の増額、先日の台風17号の関連の災害対応として、1,900万円の増額、役場庁舎改築基金への積立金として1,761万3千円などを計上した。

議案第61号 平成25年度佐那河内村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算それぞれ1,735万円を増額し、歳入歳出予算の総額を4億9,037万円とした。

主な内容は、歳入では、国民健康保険税が594万円の増額、療養給付費等交付金283万円の増額などによるもの。歳出では、償還金として平成24年度の療養給付費の国への償還金1,510万円増額などによるもの。

議案第62号 平成25年度佐那河内村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算それぞれ160万円を減額し、歳入歳出予算の総額を3億

7,083万円とするもの。主な内容は、前年度決算に伴う繰越金160万円の増額、歳出では諸支出金の償還金160万円の増額によるもの。

● 条例案件 ●

議案第63号 佐那河内村職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

役場職員の給与を減額するもの。

● 報 告 ●

報告第2号 平成24年度佐那河内村財政健全化判断比率等の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22項第1号の規定により、平成24年度佐那河内村財政健全化判断比率及び公営企業会計の資金不足を監査委員の意見を付して報告するもの。

● 議員提出議案 ●

発議第4号 道州制導入に断固反対する意見書について

道州制の導入に断固反対する意見書を、地方自治法第99条の規定により提出するもの。

発議第5号 消費税増税中止を求める意見書について

住民の暮らし、地域自治体に深刻な打撃を与える消費税増税を中止することを強く求める意見書を、地方自治法99条の規定により提出するもの。

一般質問

大岩和久議員

質 村道の維持管理などについて①村道全般について路面の悪化などの現状把握をどのようにされているか。②安全対策（ガードレール、カーブミラーなどの設置）がされていない危険箇所があるが、このことについての現状把握および認識はどうか。③①、②について、今後の対応、対策を聞かせ願いたい。④維持、管理などについては、計画的また、継続的に行う必要があるが、村長の考えを聞きたい。

答 ①現在村が管理している村道は709路線、延長にして262キロメートルある。現在、橋梁については、橋梁長寿命修繕計画を策定し、点検を実施している。路面および道路の附属物については担当職員の道路パトロールによる目視点検、村民からの報告、あるいは要望に頼っているのが現状である。②時代の背景や、道路ができてからの年数経過などにより基準が変わったり、考え方が変わったり、状況が変わるということもあり、全て解消したとは言いつらい一面がある。③今後も交通量の多い幹線道路や、集落道などを中心に、パトロールを頻繁に行い、維持修繕工事を実施していく。④本村の村道の延長は長く、網の目のごとく張り巡らされている。また限られた体制の中ではあるが、今後も点検を行い、必要な箇所には安全対策を行っていく。

質 村税および使用料の収納状況について①平成24年度課税分の税と、使用料の収納率はどれくらいか。②未収額および世帯数はどれくらいか。③平成25年度の収納状況は平成24年度の同時期と比べてどうか。④過年度分の滞納状況について⑤現状について、どのように把握をされ、どのような体制、頻度で徴収に行われているか。⑥今後、滞納額の解消また、現年度課税分の収納率向上に向け、どのような対策を講じていくか。また、このことについて危機感を持ち、計画的、継続的に行う必要があると思うが、村長の考え

を聞きたい。

答 ①②③④⑤⑥現年に課税した税金および使用料を完納していただく、滞納としていかないというのが大原則であり、今後も年度繰越となる滞納額を発生させない、特に新しく滞納繰越となった事例をつくらないことが非常に肝要である。また、それぞれの家庭、会社などによって事情もあるので、それぞれの事情を配慮し、納付しやすい方法を個々に相談を受けながら収納率の向上を図る。

瀧倉俊晴議員

質 若者定住について①今までどのような施策をしてきたのか。②若者住宅が必要でないか。

答 ①②ハード事業を急ぐと、いろいろな問題が生じる恐れがあるので、まず、ソフト面を重視して、その後でハード整備をしていきたい。また空き家、遊休地の情報提供もお願いしたい。

質 平成24年度会計決算審査講評について①どのように対応するのか。

答 ①来年度の決算審査では努力の跡がうかがえる成果として報告できるような決算審査を受けるよう努力していきたい。

松長英視議員

質 村長の公約実現について①任期が後1年を切ったが、公約実現はどこまで進んだと認識していますか。②残り1年で何を実現しようと考えているか。

答 ①住民会議を通じてふるさとの良さをもう一度それぞれの住民が体感できたかということについては、徐々にではあるが、成果が上がっているのではないかと。②若い人が村内に一人でも多く住んでもらえるようなこと、高齢者が安心して暮らせるような環境、農業振興をもとにした産業振興、村の特徴を生かした環境に優しい村の実現に向かって努力していきたい。

質 6月議会の質問に関連して①医療費を高校卒業まで無料化する件、子どもを増やす問題、一般廃棄物中間処理施設の推進の件、過疎

地有償運送の検討などどこまで進んでいますか。

答 ①医療費の高校卒業までということについては、どのような方法が最適なのか、近隣自治体でもすでに実施されたところなどの調査も含め、いろいろな角度から検討したい。子どもを増やすための若者住宅については、26年度には何らかの方法で取り組みたい。一般廃棄物の中間処理施設については、現時点では基本策定がまだ定まっていない。過疎地有償運送については、理解が得られるようにいろいろな角度から取り組みたい。

質 国の施策に関連して①消費税増税、介護保険制度改革、TPP参加の問題等々は、村政にとって村にとって困苦の問題ばかりです。村長はこれらの問題にどう取り組もうとしているか。

答 ①私どもで制度改正などは難しい。町村会などを通じて本村の実態を伝え、今後も農山村として継続していけるような意見を発信しなければならないと思っている。

仁羽悟郎議員

質 社会保障について①介護、年金、医療など負担増が考えられ今後高齢者、低所得者にはますます厳しくなると思われる。対策は考えていますか。

答 ①国からの財政支援などを今後見きわめる必要がある。地域で支えるような人材育成やボランティアの活用などを考えなければならないと考えている。

質 空き家対策について①移住交流支援センターの取組について②空き家の実態調査について

答 ①移住交流支援センターは、移住交流および定住促進を目的にさまざまな調査や事業を実施するために設置したものの。本村は、平成22年に設立しているが、十分な組織的な運営をしていなかった。今年度から副村長を会長として徳島大学大学院の先生方を委員に迎え、活発な事業展開をするために新たに規約を設



け、徳島大学と連携して運営する。
 ②平成18年に空き家バンク制度が発足している。この時期に常会を通じて空き家の情報を収集したが、このときの空き家は24軒だった。それ以降、実態調査は行っていないが、昨年度初めに調査したところ、36軒に増加をしていた。今年度は職員が地域に入って村民の協力を得ながら実態調査を行っているところである。

岡本隆次議員

質 村の姿勢について①全員協議会場で村民からの要望事項をお願いしてあったが、いまだに無回答がある。この遅れには何らかの理由があるのか、無いのなら今後、迅速な回答をお願いしたいと思うがどうか。(例) 老人会から要望のあった中学校跡地特別教室の貸し出しなど

答 ①老人会より要望のあった西ノハナコミュニティ施設の会議室を畳敷きにしてほしいということは、要望に沿いたい。旧中学校調理室の利用の件については、耐震的に問題があり、一般の住民の使用に関しては、利用は難しい。

質 徳島駅伝について①今年度は記念大会であります、中学校、高校、一般男子、女子の選手層は。②中学校男子が少ないと聞きますが、全体の選手の確保はいけるか。③昨年のような区間の参加になるのかどのような参加形態になるか。

答 ①本村の本年度の選手は、中学生が男子7人、女子6人、高校生が男子1人、女子2人、一般男子が6人で、女子が合計8人、男子が合計14人となっている。②大丈夫と考えている。③記念大会である第60回大会は1日目に12区間、3日目を全区間走ることを目標にしている。

質 奥川股広葉樹林化支援事業について①除間伐作業の面積または、樹下植栽物の名前と面積は。②作業はどのようにするのか。森林組合またはシルバー人材センターなどに委託するのか。

答 ①今年度における除間伐の面積は12haを予定している。また、樹下植栽の樹種と面積については4haを予定しているが、樹種については決まっていない。②現場管理や労務管理などの作業の安全が確保さ

れなければならないので、専門的知識、または経験がある組織への委託を考えている。

長尾久代議員

質 地域の安全対策について①防犯カメラ設置の予定はあるか。

答 ①設置する、しないもあわせて、防犯カメラを設置した場合の条例や規則などを整備しなければならないので、今後の要検討課題としたい。

質 子ども子育て会議について①本村の子ども子育て会議の取組はどのような計画か。

答 ①子ども子育て会議の設置については、法律では努力義務となっている。体制整備もさることながら、村の将来を担う貴重な子どもに、質の高い就学前の教育や成長のために、教育委員会、担当部署、あるいは保護者からの意見を総合し、村の将来を担う子育てをしなければならない。今後も、内容を充実した保育所に努めていきたい。

議会行事出席報告

(場所)
(出席者)

平成25年9月

9月3日 全員協議会〈農振C〉(全議員)

11日 平成25年第3回村議会定例会開会

〈会期を20日までの10日間と決め、議案の上程並びに決算報告、議案審議および平成24年度会計決算審査を実施〉(全議員)

12日 平成25年第3回村議会定例会(2日目)〈決算書類審査〉(全議員)

13日 平成25年第3回村議会定例会(3日目)〈決算書類審査・現地調査・総括審議〉(全議員)

19日 平成25年度第3回村議会定例会(4日目)〈一般質問〉(全議員)

20日 平成25年度第3回村議会定例会(最終日)〈議案に対する質疑、討論を行い、表決し閉会〉(全議員)

21日 健祥会ハイジ敬老会(中野、瀧倉正副議長)

24日 9月分例月出納検査〈役場〉(井開、長尾監査委員)

24日 農業委員会総会〈農振C〉(岡本議員)

24日

〃 四国四県町村長・議長大会〈高知市〉(中野議長)

25日

29日 佐那河内村敬老会〈村民体育館〉(全議員)